



議会だより

平成29年

5月
18号

おおたわら市

“題字は引地達雄議長”

No. 180

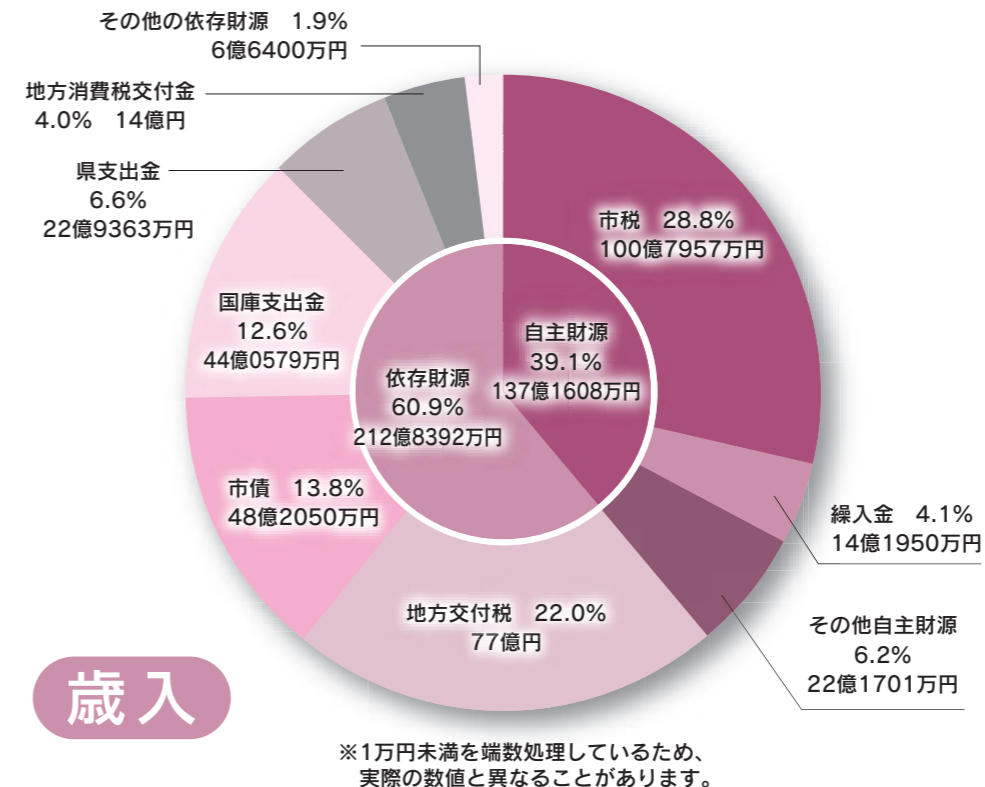


河津桜（大田原市役所）

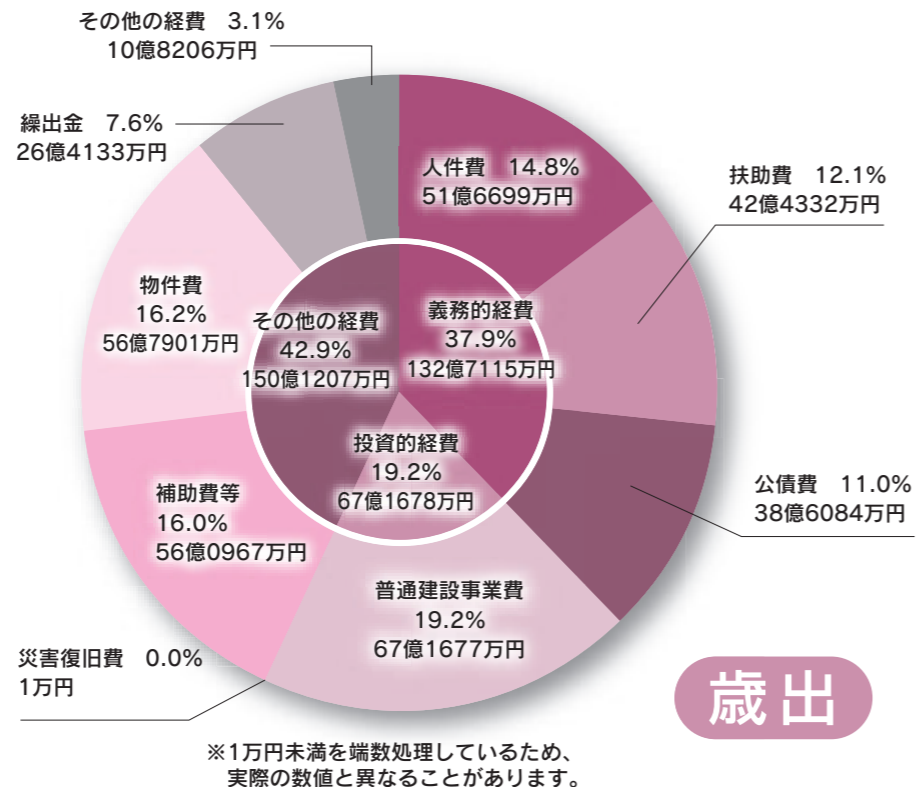
平成29年度 一般会計予算 350 億円 過去最高 4年連続増額「おおたわら 国造り実行予算」

予算 審議

平成29年度は、『知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら』を将来像とした、大田原市総合計画スタートの年であり、50年後、100年後の大田原市にとって特に重要な年であることから、同計画に掲げる基本理念及び基本政策を実現するための各種事業の執行を滞りなく推進する必要があります。そのため、厳しい財政状況ではありますが、限られた財源の重点的かつ効率的配分に努め、高度化・多様化する市民ニーズに適切に対処することを基本方針に、未来への投資を着実に実行する『おおたわら国造り実行予算』が編成されました。



※1万円未満を端数処理しているため、実際の数値と異なることがあります。



※1万円未満を端数処理しているため、実際の数値と異なることがあります。

「少子化・高齢化対策」に傾注

婚活、出会い事業、子育て環境整備、高齢者の社会参加など
平成29年度一般会計の当初予算額は、子育て支援から障害者、高齢者福祉に至るまでの行政需要の増加に対応すると共に、新庁舎建設事業の本格的工事着手や小学校改築事業、道路改良事業など大規模建設事業のピークの年であることから、前年度と比較して、4億円、1.2%増の350億円となり、新大田原市発足以降、最高額の予算規模となりました。
9議案について、原案のとおり可決いたしました。

歳入

歳入については、自主財源である市税は、法人市民税は景気回復基調であること、また固定資産税は新増築家屋等が増加していることを考慮し、前年度と比較して1億2363万5千円、1.2%増の10億7957万3千円の見込みです。
地方交付税については、普通交付税の合併算定替の段階的縮減という減額要因がありますが、新庁舎建設事業の財源として、震災復興特別交付税を見込み、前年度と比較して8億円増の77億円と大幅増となりました。
国庫支出金及び県支出金については、学校施設整備費負担金及び学校施設環境改善交付金の減額や畜産競争力強化対策整備事業費補助金の減額により、前年度と比較して国庫・県支出金併せて、4億7287万9千円減の66億9941万9千円となりました。
市債は、新庁舎建設事業の本格的工事着手、道路整備事業及び道の駅那須与一の郷調整備池改修事業の着手など、大型事業や継続事業の計画的実施に伴い、1億6170万円、3.5%増の48億2050万円となりました。

歳出

歳出については、人件費は前年度比1億2510万6千円、2.5%増の51億6699万7千円となりましたが、扶助費は前年度比5298万4千円、1.2%減の42億4332万5千円、公債費は前年度比1億6820万1千円、4.2%減の38億6083万8千円となり、義務的経費全体では前年度より約1億円減少しました。
投資的経費である普通建設事業費は、前年度比11億9445万4千円、21.6%増の67億1677万8千円と大幅な増額となりました。内訳は補助事業費が前年度比14億5493万5千円、31.7%減の31億3908万4千円と大きく

市債の内訳は、臨時財政対策債が前年度と比較して8000万円増の13億8000万円、市債全体の28.6%、合併特例債が前年度と比較して6億9240万円減の17億6950万円、36.7%を占めており、合併特例債と臨時財政対策債の占める割合は市債総額の65.3%となっています。

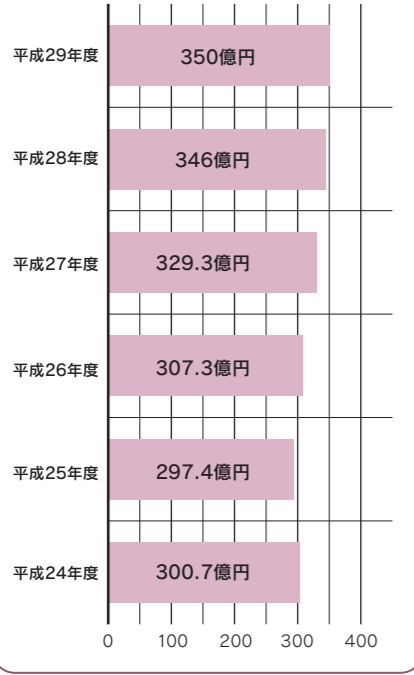
予算審査特別委員会の日程

委員長/大豆生田春美 副委員長/星雅人

- 3月6日 正副委員長の互選、分科会の設置、会議日程
- 13日 第1分科会、第2分科会
- 14日 第3分科会、第4分科会
- 15日 予算審査全体会



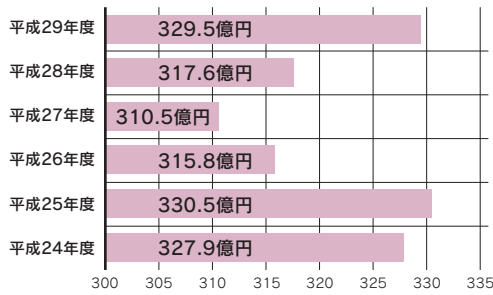
当初予算の推移



■ 平成29年度各会計予算

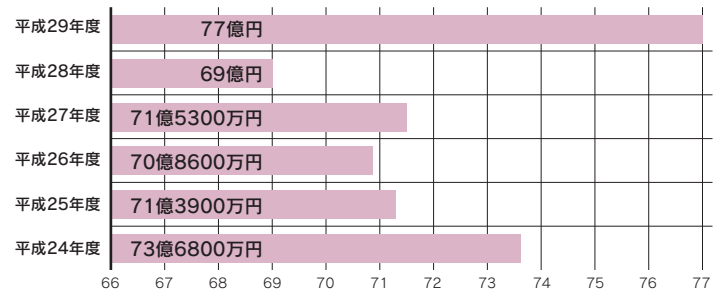
会 計 名	予 算 額 (万円)	前年度との対比	
		増減(万円)	比率(%)
一般会計	350億0000万	4億0000万	1.2%
特別会計	国民健康保険	1億3900万	1.5%
	下水道	1億1800万	6.1%
	農業集落排水事業	△1020万	△5.1%
	介護保険	4億1500万	6.5%
	子育て支援券	△7000万	△4.3%
	後期高齢者医療	△2480万	△3.8%
	須賀川財産区	△1万	△1.2%
水道事業会計	23億1400万	1900万	0.8%

■ 市債残高(借入金残高)の推移



市債の残高は、27年度までは決算額、28年度は見込み額、29年度は当初予算額です。

■ 地方交付税の推移



(注意) 平成28、29年度は当初予算額です。

市民1人当たりにはいくら使われているの？

市民の皆さんが納める税金（市民税、固定資産税、市たばこ税など）のうち、子育て環境や福祉の充実、教育環境や道路整備など、さまざまな事業に税金が使われています。また、使い道が限定されている目的税として都市計画税は都市計画事業などに、入湯税は観光振興などに使われます。

市民1人当たりの費用（一般会計ベース）

市民1人当たりの課税額
..... 139,301円※1
市民1人当たりの支出額
..... 483,705円

平成29年3月1日現在の住民基本台帳による人口72,358人で計算
※1 市税のみで計算。国税や県税等は含まない。

1人当たりの金額	お金の使い道
131,076円	高齢者や障害者福祉、子育て環境の充実、生活保護などのために（民生費）
76,632円	住民登録、市役所の全般的な維持管理、税金関係の仕事、選挙の費用などのために（総務費）
71,014円	道路や橋・河川・公園などの整備、まちづくりのために（土木費）
61,999円	学校教育の充実、生涯学習施設やスポーツ施設の充実、文化財保護などのために（教育費）
53,358円	小中学校の校舎建設、道路改良、公共施設の建築などのために借りたお金（借金）の返済のために（公債費）
29,499円	皆さんの健康づくり、ごみ処理、し尿処理、リサイクル推進などのために（衛生費）
24,279円	農業や畜産業、林業などの振興のために（農林水産業費）
16,921円	消防団などの費用、消防ポンプ車の購入、耐震性防火水槽の設置、消火栓の設置など市民の皆さんの生命や身体、財産などを災害から守るために（消防費）
14,168円	商工業、観光の振興のために（商工費）
4,759円	議会の運営、労働対策、災害復旧費などのために（その他）

予算審査特別委員会 (討論の一部抜粋)

■議案第2号～10号までの予算全般について

反対 本澤 節子 議員

予算全てに反対します。市は時代認識を誤り、誠実に税金を払っている市民の健康を守る義務を果たしていないからです。市財政は乏しいのに無駄が多く、政策がぶれています。市民の幸せを守れない平成29年度予算すべてに反対します。市民の現実に合った政策を市は真剣に研究すべきであります。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

本市議会では委員会の中で「意見」の時間や議員間討議を設けるなどして、議員がより議論しやすい環境、議論できる環境を整えてきました。そのような中で予算審査特別委員会において否決が妥当と思われる意見が出ていないこと、修正すべき点などの対案・提案が十分示されていないことから、私は平成29年度予算関係議案すべてに賛成します。

●議案2号 平成29年度大田原市一般会計予算について

反対 秋山 幸子 議員

平成29年度は「おおたわら国造りプラン」のスタートの年として、実に多くの、様々な大型公共事業が計画されています。一方、大田原市の人口減少は止まらず、高齢者から子供まで、生活の深刻な格差が広がっているのが現実です。この現実を直視し、市民福祉を充実させることや、地域の実情に沿った事業にする為、住民の中に入って、十分な審議が必要ではないでしょうか。大田原市から広まったと言っても決して過言ではない、子供たちの未来を見据えた、学校給食の無料化は評価しますが、多くの公共事業の実施には透明性と、市民への説明をしっかりと果たされる事を強く求めます。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

平成29年度一般会計予算は、新庁舎建設事業、小学校改築事業などの大規模建設事業があることから350億という過去最高の予算であり市債発行額も大きく膨らんでいますが、震災復興特別交付税、合併特例債等の市に有利な制度を使い、いずれやらなければならない事業を今やるという性格のものであると理解しています。今やらなければ後年度の市民に重い負担がのしかかってくることにもなります。市民の後年度負担を減らすことにより、各種福祉施策の充実・維持にもつながると考えます。予算審査の結果や各議員から出された委員会内の意見を踏まえ、市民の幸せを守る予算であり、その妥当性を認めます。

●議案3号 平成29年度大田原市国民健康保険事業費特別会計予算について

反対 秋山 幸子 議員

国民健康保険事業の実態は、国保加入世帯1万1,522世帯の内、滞納世帯数は1,348世帯(約12%)、医療費を全額自己負担の資格証明書発行数は319世帯で、県内8位になっています。短期被保険者証の発行数は295世帯です。住民の実態を踏まえ、さらなる負担軽減に努めることや、国に財政支援の要望など、保険者の責任で、被保険者の命と健康を守る事を求めます。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

平成29年度国民健康保険事業費特別会計予算は、保険料が高い、という点が意見としてありますが、減額の税率改定に加え、従来の減額措置などもあります。負担が重いと感じる方はいると思いますが、皆で負担しあうという保険制度の趣旨をご理解いただきたいと思います。市民の健康と命を守るためになくてはならない国民健康事業です。その運営に本予算が妥当であることを認め、賛成します。

●議案6号 平成29年度大田原市介護保険特別会計予算について

反対 秋山 幸子 議員

介護保険については、保険料は払っているのに、実際にはサービスが使えないなどの「保険あって、サービスなし」の実態、「介護離職」などの実態が深刻です。求められているのは、利用者の生きる希望を引き出す介護制度です。国の介護保険法に追随した制度の構築で「介護難民」を出さないよう、保険者である市の裁量権を発揮されることを求めます。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

平成29年度介護保険特別会計予算は、保険料が高いとの指摘がありますが、保険料は介護サービスの給付実績に応じていることから、本予算の妥当性を認め賛成します。

●議案8号 平成29年度大田原市後期高齢者医療特別会計予算について

反対 秋山 幸子 議員

後期高齢者医療制度の保険料は「後期高齢者医療広域連合」が率を決め、被保険者の収入により決めています。この制度が「広域化事業」となっている為、後期高齢者医療についての実態が明らかでなく、住民から遠のいた状態になっていることは問題です。後期高齢者の年金収入の現状は、平均が127万円で、基礎年金満額の80万円以下が約4割を占めています。後期高齢者医療広域連合が2年ごとに定めた、2016年、2017年の平均保険料は一人当たり、月5,659円となる見込みです。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

平成29年度後期高齢者医療特別会計予算は、委員会において反対の意見等は出ておりません。市の業務は賦課徴収が中心であることや過去の実績から鑑みて、本予算の妥当性を認め賛成します。

平成29年
第1回

市議会定例会

平成29年度予算案件を議決

平成29年第1回市議会定例会(3月定例会)は3月3日(金)から21日(火)までの19日間を会期として開かれ、本定例会では、人事案件及び陳情を含め27件の議案の審議を行いました。

そのうち9件は、平成29年度の市政運営の骨格となる予算関係議案であり、市長から市政運営の所信が述べられました。予算関係議案は予算審査特別委員会に付託され、分科会ごとに担当課からの詳細の説明を受け、慎重に審議しました。

条例関係議案は、議案第15号大田原市税条例等の一部を改正する条例等9件が上程され、各常任委員会ごとに付託

された議案を慎重に審議いたしました。

また、最終日には議員提案により大田原市議会議員定数条例の一部を改正する条例、大田原市議会委員会条例の一部を改正する条例が提出されました。議員定数は現在の26人から5人減の21人とし、総務常任委員会と建設産業常任委員会はそのまま継続し、民生常任委員会と文教常任委員会を統合して民生文教常任委員会と改め、委員会の数を4委員会から3委員会とするものです(これらの改正は、次に行われる市議会議員選挙から適用されます)。

これらを含め、本議会上程された議案は全て原案通りに可決されました。議案詳細と各会派の代表質問、一般質問の内容については、6ページ以降をご覧ください。

平成29年 第1回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
報告第1号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第2号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第3号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
議案第1号	大田原市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(安部桂弥氏・新任)	同意 (全会一致)
議案第2号	平成29年度大田原市一般会計予算(総額350億円・対前年度比4億円・1.2%増)	原案可決 (賛成多数)
議案第3号	平成29年度大田原市国民健康保険事業費特別会計予算(総額96億6,800万円・対前年度比1億3,900万円・1.5%増)	原案可決 (賛成多数)
議案第4号	平成29年度大田原市下水道事業特別会計予算(総額20億4,500万円・対前年度比1億1,800万円・6.1%増)	原案可決 (賛成多数)
議案第5号	平成29年度大田原市農業集落排水事業特別会計予算(総額1億9,100万円・対前年度比1,020万円・5.1%減)	原案可決 (賛成多数)
議案第6号	平成29年度大田原市介護保険特別会計予算(総額67億5,300万円・対前年度比4億1,500万円・6.5%増)	原案可決 (賛成多数)
議案第7号	平成29年度大田原市子育て支援券特別会計予算(総額1億5,650万円・対前年度比700万円・4.3%減)	原案可決 (賛成多数)
議案第8号	平成29年度大田原市後期高齢者医療特別会計予算(総額6億3,070万円・対前年度比2,480万円・3.8%減)	原案可決 (賛成多数)
議案第9号	平成29年度大田原市須賀川財産区特別会計予算(総額80万円・対前年度比1万円・1.2%減)	原案可決 (賛成多数)

議案番号	議案件名	結果
議案第10号	平成29年度大田原市水道事業会計予算（総額23億1,400万円・対前年度比1,900万円・0.8%増）	原案可決 (賛成多数)
議案第11号	大田原市学校教育施設整備基金条例の制定について（国庫補助で整備した学校施設を有償で補助目的以外に活用するための基金条例の制定）	原案可決 (全会一致)
議案第12号	大田原市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（附属機関の新設及び廃止、また名称及び担任意務を変更することによる改正）	原案可決 (全会一致)
議案第13号	大田原市特別職の職員等で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（認知症初期集中支援チーム員の新設に伴い報酬を規定すること等による改正）	原案可決 (全会一致)
議案第14号	大田原市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について（働きながら育児や介護がしやすい環境整備をさらに進めるための改正）	原案可決 (全会一致)
議案第15号	大田原市税条例等の一部を改正する条例の制定について（法人市民税の税率の改正や軽自動車税環境性能割導入などによる改正）	原案可決 (賛成多数)
議案第16号	大田原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について（認知症総合支援事業について、平成30年4月1日から開始予定でしたが、平成29年4月1日に繰り上げるための改正）	原案可決 (全会一致)
議案第17号	大田原市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（地域包括支援センター等に配置される主任介護支援専門員の資格要件が変更されたことによる改正）	原案可決 (全会一致)
議案第18号	大田原市外国人留学生奨学金支給条例の一部を改正する条例の制定について（第3学年から第6学年に在学する者の支給額を月額5,000円から月額10,000円に改正）	原案可決 (全会一致)
議案第19号	大田原市公民館条例の一部を改正する条例の制定について（地区公民館の対象区域について、区域外からの利用者の増加に伴い全地区利用対象区域とするための改正）	原案可決 (全会一致)
議案第20号	平成28年度大田原市一般会計補正予算（第4号）（補正金額：5億5,740万円の減）	原案可決 (賛成多数)
議案第21号	平成28年度大田原市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第3号）（補正金額：2,335万円の増）	原案可決 (賛成多数)
議案第22号	平成28年度大田原市下水道事業特別会計補正予算（第2号）（事業の一部を翌年度に繰り越すための繰越明許費の設定）	原案可決 (賛成多数)
議案第23号	平成28年度大田原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（補正金額：1,282万4千円の減）	原案可決 (賛成多数)
陳情第8号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情書	不採択 (賛成多数)
議員案第1号	大田原市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について（議員定数を26人から21人に改正）	原案可決 (賛成多数)
議員案第2号	大田原市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について（常任委員会数を4から3に改正）	原案可決 (賛成多数)
議員案第3号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	原案可決 (賛成多数)

「市民5分間演説」 をしてみませんか

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することが出来る「市民5分間演説」を実施しております。

ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様の参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

（演説申込について）
演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く、定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書（様式第1号）を提出してください。なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

代表・一般質問 市政を問う

代表質問とは

3月定例会において、次年度の予算や市長の施政方針について、同一案件や同一事業の一般質問の重複をさけるため、会派を結成する議員の中から、会派を代表して質問することです。

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。
(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。)

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	政友会第一 高崎 和夫	①平成29年度予算編成について ②津久井市長の3選出馬について ③定住促進について ④大田原市人口ビジョンについて ⑤八溝山周辺地域定住自立圏について ⑥農業行政について ⑦改正公選法について ⑧結婚活動事業について	9	深澤 賢市	①プール及び温泉施設の利用料金について ②バイオマス発電について
		2	政友会第二 高野 礼子	①行政改革事業について ②地方創生事業について ③運転免許自主返納支援事業について ④福祉助成金制度について ⑤教育行政について ⑥働き方改革について	10
3	一誠会 滝田 一郎			①平成29年度大田原市予算編成について ②財政の健全化について ③行政改革について ④新庁舎について ⑤大田原市民健康診査の充実について ⑥教育環境の充実について ⑦子育て支援について ⑧地域包括ケアシステム構築について ⑨農産物の販売力強化等農業行政について	11
		4	政友公明会 小池 利雄	①安定的な水の供給確保について ②保育園の空き情報の周知について ③大田原ブランドの推進について ④B型肝炎予防接種について	12
5	大豆生田春美			①男性の育児参加について ②産後ケア事業について ③学校におけるインフルエンザ対策について	
		6	菊池 久光	①黒羽藩第15代藩主大関増裕公について ②バイオマス産業都市構想について ③地域防災について	14
7	星 雅人			①団体を対象とした補助金のあり方について	15
		8	櫻井潤一郎	①栃木国体を見据えたスポーツ選手の育成・強化について ②芸術文化活動への意識高揚について ③地域活性化に向けた取り組みについて	16
17	小野寺尚武			①新年度予算と持続可能な財政運営について問う	

※太字が掲載されている項目

定住促進について

代表質問



政友会第一
高崎 和夫 議員

改正公選法について

質問…若者が定住する魅力あるまちについて伺いたい。

答弁…定住移住に向けたPRについては、主に子育て支援が充実した大田原市の魅力発信に努めています。東京都内で開催した移住定住セミナーにおいても、子ども未来館をはじめとした子育て施設の充実や小中学校給食費の無料化、保育料第3子以降全額免除など子育てに優しい魅

力ある大田原市をPRしています。またセミナーでは、大田原市に移住した30代の市民にご協力をいただき、子育て環境など若者にとって魅力ある情報を体験談として語っていただきました。移住定住に向けた首都圏等へのPR活動については、まだスタートしたばかりですが、引き続き若者が定住できる魅力ある大田原市をPRしていく考え

です。
質問…本市に移住した30代の市民の体験談はどのような話をしたのか伺いたい。

答弁…いかに大田原市が自然に恵まれ子育てしやすい環境であるか、また様々な子育てに対する施策を行い子育てしやすい地域であることについて、十分に魅力を発表していただきました。

質問…移動式期日前投票所について伺いたい。

答弁…移動式期日前投票所は、島根県浜田市で実施した新たな取り組みで、廃止した投票所の地域11か所を巡回し、対象者153人中68人の利用がありました。公職選挙法の改正により共通投票所や商業施設、大学等への期日前投票所の設置など投票機会の拡大に向けた選択肢が増

えてきていますので、今回の事例については、今後の取り組みの参考になります。

質問…期日前投票所の増設について伺いたい。

答弁…来年度執行予定の大田原市長選挙より新たに設置するための予算措置を行い、現在調整を進めています。

質問…投票日の投票時間の短縮について伺いたい。

答弁…投票時間の短縮は、投票立会人、選挙事務従事者等の負担軽減や人件費の経費削減につながることや開票結果を早くお知らせできるメリットがありますが、選挙人の投票に支障を来さない特別な事情があるかが課題です。今後の県内各市町の動向や、既に実施している自治体の投票率に与える影響等の情報を参考に、慎重に判断します。

地方創生事業について

代表質問



政友会第二

高野 礼子 議員

運転免許証自主返納事業について

質問…地方創生制度をどのように活用しているのか伺いたい。

答弁…国や地方自治体の地方創生の取り組みを支援し、情報支援ではビッグデータを活用した地域経済分析システムが提供され、未来創造戦略の評価指数、KPIの設定や本市の主要産業の分析に活用しています。人材支援では地方創生コンシェルジュ制度により栃木県担当47名

質問…運転免許の自主返納者の状況について伺いたい。

答弁…本市における運転免許証自主返納者数は、平成20年は2名であったものの、平成26年75名、平成27年101名、平成28年136名と増加しています。

質問…公共交通（路線バス、デマンド交通）運行の見直し状況について伺いたい。

答弁…暮らしの足とお出かけの

が配置され、施策の検討や交付金等の活用に助言をいただいています。財政支援では地方創生関連の交付金制度が創設され、平成27年度は地方創生先行型交付金を活用し、テレビ、FMラジオを活用した本市情報発信事業を実施しています。平成28年度は地方創生加速化交付金を活用し、昨年9月に大田原市移住・定住サポートセンターを開設し

足の確保に向けて利用者増加のための市営バスと民間路線バスの共通券発行や既存デマンド交通の改善と小さな交通の導入により、地域の状況や交通弱者の利便性向上に配慮し、市民の皆さんが利用しやすい公共交通を目指していきます。

質問…無料乗車証や無料乗車券の有効期限1年間とあるが最高期限を5年間とすることが出来るか伺いたい。

答弁…特に、財政支援としての各種交付は従来の各省庁の補助メニューにはない独自事業であつても実施することが可能となり本市にとって大きなメリットと考えています。

たほか本市の知名度向上に向けたPR動画を制作しています。

質問…本市にとってのメリットについてどのように捉えているのか伺いたい。

ないか伺いたい。

答弁…市営バスだけでなく、東野バス及びデマンド交通にも無料乗車券を拡大したため、申請者が増加したものと思われま

有効期限の延長は高齢者の運転免許証の自主返納を促進させることについて有効であると考えますので、今後関係機関と協議し、検討していきたいと考えています。

大田原市民健康診査 の充実について

代表質問



一誠会
滝田 一郎 議員

子育て支援 について

- 質問**…細胞診とHPV-DNA（ヒトパピローウイルス）併用検診の導入について伺います。予防接種法に基づくヒトパピローウイルス予防ワクチンの積極的な接種の勧奨が中止されましたが、女性特有のがん検査の充実が求められています。
- 答弁**…併用検診を行うことでより前がん状態で見逃しなく検査ができ、結果によって検診の間隔を延長できることで受診者の利便性と、検査費用の削減にもつながることから、平成29年度から集団健康診査のみ25歳から45歳の女性に導入することとしました。
- 質問**…腫瘍マーカー検診のメニュー化について伺います。市民健康診査の医療機関健診では多様な腫瘍マーカー検査がありますが、集団健診の場合は限られます。
- 答弁**…特に効果の高いとされている腫瘍マーカーは前立腺がんと肝がんのマーカーと言われ、前立腺がんは集団健診にも既に導入されています。そのほかのマーカーは、利便性から導入すると混乱が予想されますので有効性の高い既存の各種がん検診の受診率を高めることを最優先に取り組みます。
- 質問**…児童手当及びこども医療費の現況と財源確保について。
- 答弁**…児童手当は中学卒業までの児童養育者に支給し本年度の財源内訳は国7億8千万円県と市が1億7千万円、こども医療費助成は高校生までを対象とし本年度の財源内訳は県8千万円市1億1千万円の見込みです。増加した場合には不足が生じないように補正により対応します。
- 質問**…乳幼児健康診査の受診率向上について伺います。
- 答弁**…未受診者に対しては再通知や家庭訪問等で受診勧奨等を行います。
- 質問**…産後ケア体制の充実について伺います。
- 答弁**…平成29年4月からは助産師が相談支援する産前産後サポートを実施します。また出産し退院直後の母親に対して安心したものがなっています。
- 質問**…市立保育園の民間委託及び委譲について伺います。
- 答弁**…平成24年度にはかねだ保育園を、平成25年度にはのぎき保育園を民間化していますが今後の民営化は当面見送ります。

安定的な水の供給確保について

代表質問



政友公明会

小池 利雄 議員

大田原ブランドの推進について

質問…水道事業の現状と将来の見通しについて伺います。

答弁…大田原市では、給水普及率95.4%に達し、水道施設は市民生活の基盤として欠かせないものとなっています。水道の計画的な整備を中心とする時代から、人口減少社会や頻発する災害に対応できるような施設の維持管理や修繕、計画的な更新を行うことにより、将来にわたり

持続可能な水道とすることが求められる時代と変化しています。

質問…今後の耐震化の工事について伺います。

答弁…平成29年度に新水道ビジョンを策定し、次期整備計画を策定していきませんが、今後おおむね10年を目途に整備計画を策定していく中で、中心となるのは老朽管の更新、耐震化ということがメインになりますので、

次期計画の中に中心的な位置づけで計画をしていく考えです。

質問…水道事業の広域連携について伺います。

答弁…今後、県が主導する会議の中で、本市がどのような広域連携が模索できるか、検討していきたいと考えています。

質問…平成28年9月定例会で質問しましたが、前向きに検討する

という答弁をいただきておりますが、その検討結果について改めて伺います。

答弁…ブランド化には、生産者側の安全管理や品質管理等による消費者からの信頼性向上や何らかの付加価値の付与が重要となっております。本市では、大田原市観光協会が推奨する優良観

光土産品制度や大田原商店連盟

が中心となる一店逸品運動を商品等により差別化や付加価値の向上を目指し、ブランド化に向けた取り組みを行っています。

現在、大田原ブランド推進協議会等での認定の審査をいただく候補商品についての準備作業を進めていますので、平成29年度の早い時期には大田原ブランドの認定ができるものと考えて

います。

質問…大田原ブランドの推進について伺います。

答弁…大田原市には、大田原ブランド推進協議会がありますが、大田原市で認定をしたものについては、マークまたはステッカーをつくり、わかるような形で進めていく考えです。

男性の育児参加
について



大豆生田 春美 議員

質問.. 市長にイクボス宣言をして頂きたいと思うが考えを伺いたい。

答弁.. 子育て日本一を目指す本市において、職員が自ら率先し安心して子育てができる環境づくりに励むことは、市民サービスの向上にもつながり大変重要なことと考えています。仕事と家庭の両立には、男性職員の積極的な育児への参加は不可欠で

す。市職員が率先してワーク・ライフ・バランスを実践し、男女共同参画を推進するよう促すことは使用者としての私の重要な責務と考えていますので、いつやるのかということ、ここに市長としてイクボス宣言を致します。

質問.. 企業、団体などにも声をかけて、多くの皆さんでイクボス宣言をして頂くことはでき

ないか伺いたい。
答弁.. 松山市の合同宣言式といった例を参考に、一般企業に呼びかけという部分も含めて、何らかの形を検討していきたいと考えています。

一般質問



菊池 久光 議員

黒羽藩第15代藩主
大関増裕公について

質問.. 幕末の黒羽藩、そして幕府の陸海軍を率いた黒羽藩第15代藩主大関増裕公の功績について伺いたい。

答弁.. 大関増裕公は、遠江国横須賀藩の出身で、大関家の養子となり家督を相続、黒羽藩第15代藩主になります。江戸幕府講武所奉行や陸軍・海軍の初代奉行などを歴任、幕府の軍政改革に努めます。勝海舟らとともに

陸海軍の装備や戦法、技術の充実に当たりました。外様大名としては異例の若年寄に就任、幕閣の一員となつていきます。

質問.. 増裕公没後150年に際し何らかの記念行事の計画をしておられるか、考えを伺いたい。
答弁.. 増裕は、慶応3年12月9日に31歳の若さで不慮の死を遂げます。この日は、新暦で1868年1月3日に当たり、没後

150年は平成30年1月3日になります。増裕を取り上げた展示は、平成16年度に栃木県立博物館で大々的に開催されており、その展示に学びながら、平成30年度に黒羽芭蕉の館を会場に「幕末期の江戸幕府で活躍した黒羽藩主大関増裕」といったテーマで企画展の開催や図録の発行を図っていく考えです。

団体を対象とした
補助金のありかたに
ついて



星 雅人 議員

質問…現在、大田原市には市民活動や地域活動全般に出る補助金制度がありません。他市の市民団体を公募し補助金を交付する制度では、その多くが自立を促すために徐々に補助率を下げていくといった内容になっています。大田原市でもやる気のある市民が手を挙げて使える補助制度を創設するべきではないか。

答弁…新たに市民活動を始めようとする場合に、期間を限定し一定程度の財政支援を行ってはどうかということですが、市民活動を対象とした補助金は、市単独の制度として自治会の総意に基づく地域づくり事業に対する大田原市地域づくり推進事業費補助金のほかに、県の補助制度、あるいは民間企業等から助成制度も存在するので、新たに補助制度をつくることは考え

ていません。市民活動の支援施策としては、平成26年度に旧大田原図書館をリニューアルした市生涯学習センターを設置しています。生涯学習の支援とボランティア等の市民活動の推進を図ることを目的とし活動場所を提供しており、これから市民活動を始めようとする団体も使用可能ですので、PRに努めていきます。

一般質問



櫻井 潤一郎 議員

芸術文化活動への
意識高揚について

質問…全国的に半紙サイズの絵手紙コンクールを開催しているのは、広島県の1か所だけなので、本市でもコンクールを開催し、大田原市の名物の一つにしてはどうか。

答弁…絵手紙講座は、勤労者総合福祉センターで平成10年度から15年間実施しました。また、平成23年度からは東地区公民館でも実施しており、来年度も実

施する予定です。これにより、絵手紙人口は確実に増加していると思われ、自主サークルも市が把握しているだけで7グループ結成して活動しています。

生涯学習は、楽しく学び、生かす、自主的な活動を通し、各自の生きがいとして豊かな人生を送ることを目標にしており、そのための発表の場は、地区の

文化祭等で行っています。今後、さらに絵手紙人口が増加し、市民活動の一つとして活性化することを大いに期待しています。そうした盛り上がりの中で、市民自らが主催となってコンクールを実施していこうとする気運が高まれば、本市としても支援し、協力していきます。

プール及び温泉施設の
利用料金について



深澤 賢市 議員

一般質問



印南 典子 議員

本市の子ども・子育て
世帯、高齢者支援
について

質問…プール及び温泉施設の利用料金について、昨年度プール施設内でアンケート調査がなされたが、その結果を伺う。

答弁…大田原市屋内温水プールと黒羽中学校屋内温水プールについては、平成27年度から指定管理者制度により、管理運営を民間業者に委託しています。アンケート調査についてはその業者が実施しましたが、その概要

のみ答弁いたしますと、利用者の多くは市内在住の65歳以上の女性で健康維持が目的でありま

す。利用状況は週2回程度が多く、利用料金は82%が安いと回答されました。

湯津上温泉やすらぎの湯は200円と定め、市外の高齢者は一般の使用料と同額で、黒羽温泉五峰の湯が500円、湯津上温泉やすらぎの湯が400円です。

質問…市内外を問わず、65歳以上の高齢者の利用料金を一律料金にすべきと思うが伺いたい。
答弁…市内高齢者については、黒羽温泉五峰の湯は250円、

質問…栃木県が子どもの貧困対策として、食事や学習面などを支援する子どもの居場所づくりを拡充する方向で検討に入ったと報じ、全国的に子ども食堂が増え続けております。子ども食堂は、もともとNPO法人や個人から始まった事業ですが、自治体の開設も相次いでおります。

理由は、困窮家庭が抱える問題は食の問題に止まるだけでなく、多くの問題が混在し、当事者とふれあう事で、問題の早期発見

解決が望めるからです。また、ひとり親家庭で孤食になりがち

理由は、困窮家庭が抱える問題は食の問題に止まるだけでなく、

多くの問題が混在し、当事者とふれあう事で、問題の早期発見

解決が望めるからです。また、ひとり親家庭で孤食になりがち

は食の問題に止まるだけでなく、

本市の水道料金について



秋山 幸子 議員

質問…大田原市の総配水量のうち県水の受水量は60%近く、受水単価は、1立方メートル当たり79円62銭で協定しています。

協定の最終年度が平成30年となり、この更新時期に市民の暮らしを圧迫している県内で2番目に高い水道料金の要因である県水の単価引き下げについて、同じ受水地である那須塩原市と協議し、県に求める考えがある

か伺います。

答弁…協定更新時期に向け、北那須水道用水供給事業の今後の施設更新計画や財政計画等の情報収集に努め、同じ受水市那須塩原市とも情報交換を密にし、栃木県と受水水量と受水単価の協議を行っていきます。

質問…ライフラインでもあり、市民の命の水、単価引き下げに力を尽くしていただきたい。

答弁…大田原市の水道料金は県の受水費に負うところが多大で、受水費の26・数%を占めております。次期の改定は、29年度の後半ぐらいから協議が始まります。十分に協議を重ねて、少しでも県水の単価が引き下げられるよう協議を進めていきます。

一般質問



本澤 節子 議員

大田原市バイオマス産業都市構想について

質問…構想策定計画に無理があるのではないか。

答弁…国の政策誘導と市の課題が合致し、大田原市バイオマス産業都市構想を策定中です。関係団体、有識者、市民代表、行政が策定委員会を3回もち、2月にパブリックコメントを行い適切に推進しています。

質問…市バイオマス産業都市構想の経済効果は10年で424億

円と公表していますがその積算根拠は。

答弁…県の産業関連表等を勘案しました。

質問…木質発電施設は、近隣市町（那珂川町・大子町・白河市）にもあり、燃料の木材確保が困難。自然破壊になるので練り直すべきと思うがどうか。

答弁…市構想策定委員会で十分調整と協議を行っており、現時

点で練り直しは考えていません。

質問…事業主体は民間業者。業者には県・市と異なり法的に放射能測定義務はありません。汚染された木材、焼却灰の放射能測定と処理はどうするのか。

答弁…放射能は法律にのっとり適切な計測を行います。

市営住宅の現況と
今後の考えについて



弓座 秀之 議員

質問…入居状況から見る適正な戸数について伺います。

答弁…本市の市営住宅の状況は、団地数が11団地で114棟735戸を管理しており、その内、政策空き家として入居者の募集を行っていない団地は4団地73戸になっています。入居状況は、2月末現在、入居率が90%を超えており、かつ入居希望者が入居できない状況とはなっていない

ため、現在の戸数は適正であると考えています。

質問…市営住宅等整備基準から見た現況について伺います。
答弁…平成25年3月に、市営住宅及び共同施設の整備に関する基準を定める条例を制定しましたが、本市の市営住宅は、この条例制定前に建設されたもので高齢者や障害者に配慮したバリアフリー化や簡易耐火構造、雑

排水の処理、水洗便所化など現在の基準に合致していない所があり、今後の課題であると考えています。

質問…老朽化の進んだ市営住宅の今後の対応について伺います。
答弁…経年劣化により大規模修繕が困難な4団地は入居者を募集せず、将来的には建てかえ、又は用途廃止なのか適切な時期に判断していきます。

一般質問



鈴木 央 議員

消防団員の装備の
充実について

質問…消防団員の装備の充実に対する新年度の予算措置について伺います。

答弁…消防団員の装備の充実は、地域防災力の向上と消防団員の安全を図るため重要と認識しています。消防団員の個人装備としては、アポロキャップ、活動服及び踏み抜き防止板入りゴム長靴を入団時に貸与しています。分団各部の装備は、防火衣、手

袋、頭部のほか首や襟を保護するしころつきヘルメット及び膝カバーつき踏み抜き防止板入りゴム長靴各6セットを配備しています。また、ゴム長靴については、劣化により使用できなくなった場合は、その都度更新しています。防火衣等の経年劣化や消防団の装備の基準及び消防団員服制基準が改正されたことにより、平成29年度当初予算に

消防団員の災害現場活動時における安全を確保するため、各装備を更新する経費を計上しました。具体的に更新する装備の内容は、消防団員個人に対し、踏み抜き防止板入りゴム編み上げ靴、ヘルメット及び作業用革手袋を貸与し、また分団各部に対しては防火衣、手袋、しころつきヘルメットを全て更新します。

自治会の役割について



高瀬 重嗣 議員

質問…規模にかなりのばらつきがみられる自治会の現状は。

答弁…市内169の自治会には1万8690世帯が加入、加入率は66.8%である。

質問…自治会は歴史や地縁を背景に住民の自由意思によって結成された入会退会自由の任意団体である。市は市民に加入を勧めており、通知やゴミステーションの使用については原則と

して自治会を通じて行うとある。

子供会、老人クラブ、文化、レクリエーション活動、自主防災・防犯活動、環境美化活動、見守り隊、さらに自治公民館は、各地区公民館の事業活動への協力も行っている。小規模な自治会から見ると仕事が多過ぎる。

答弁…29年度に向けある程度の整理等を図っていく。ただ必要最低限は自治会長にお願いする

という形は継続する。

質問…各自治会は加入世帯数の減少、世帯自体の構成員数の減少という二重の問題を抱えている。例えば、充て職等の整理、自治会自体の再編を緩やかに促していくべきではないか。

答弁…各種の事業を精査してまとめられるのはまとめ、議員からの指摘提言を検討し新たな方向づくりをしていきたい。

一般質問



千保 一夫 議員

小中学校は原則的に廃止すべきでない

質問…市は平成30年度に市内全小中学校を小中一貫教育に切り替えるとの方針。しかし佐久山中だけは小中一貫教育に移行させず、廃校にして親園中に統合する。そして佐久山中を廃校にした後、非常に近い将来佐久山小、福原小も廃校とし、親園小に統合する予定だ。佐久山地区には間もなく、小中学校は1校もなくなる。平成30年度に佐久

山中を廃校にするという拙速を見直し、他地区同様、佐久山中の校区で、佐久山小、福原小と連携した小中一貫教育へ移行することに計画変更すべきと思うが如何か。又、佐久山中の統合は再編整備検討委員会の答申通りというがそうですか。

答弁…佐久山中と親園中の統合は答申通りだ。平成30年度に実施する。

質問…答申では「中学校の統廃合は、小学校の統廃合の状況を見てから検討する」となっており、具体的な年度や小学校より先に統合する、などとは書いてない筈だ。

答弁…答申では小学校を先に、ということだった。しかし親園小を卒業して中学校にいくときにまた分かれてしまうので佐久山中を先に統合することにした。

新年度予算と持続可能な財政運営について



小野寺 尚武 議員

一般質問



中川 雅之 議員

CLT(直交集成板)の普及支援について

質問…普通交付税の合併算定外の通減による影響を最小限に抑えるべきと思うが、どのような減額対策をとるのか伺う。

答弁…合併算定外は合併してから10年間、合併しなかった場合の普通交付税額が全額保証され、その後5年間で段階的に縮減される措置です。平成28年度は縮減初年度で7651万5千円減額となっています。今後平成32

年度まで縮減が行われ、平成33年度交付額は現行の交付税制度の計算上は55億円程度と見込まれ、平成28年度と比較し8億円の減額が見込まれます。合併

による行政経費の削減が進み合併算定外の措置に依存しなくても、一定の行政サービスの提供が維持できる財政状況が理想ですが、一部の経費は削減できなかったものの、合併により行政経費が

増大している状況であり、全国的にも合併市町村の大きな課題であります。今後は中期財政計画や予算編成方針などを通して、全職員に

周知し、市税の確保・財産の有効活用・受益者負担の見直し等、また事務経費・事務事業の見直しによる歳出経費の節減等の行財政改革に積極的に取り組みむことで対策をとってまいります。

質問…CLTの普及支援について本市の考えを伺いたい。

答弁…CLTについては、バイオマス産業都市構想においても地域高度利用プロジェクトとして位置付けており、ブランド材である八溝材本来の需要拡大を図り、地域材を原料とするCLTの製造と、市内における公共建築や民間建築への利用推進を考えている。国の事業である国

産材の供給、利用の増加を目的とした次世代林業基盤づくり交付金や、他の補助事業の活用も視野に入れながら、森林組合や林業者との連携による、林道や産業道の整備、木材の搬出運搬コストの低減を図るとともに、市内外の製材事業者や建築事業者等との連携により、CLT製造企業の誘致も働きかけていきたい。本市は日本CLT協会は

もとより、CLTの早期普及や関連産業の育成を進め地方創生を実現する事を目的とした、CLTで地方創生を実現する首長連合にも入会し、同じ考えを有する自治体との関係強化に努め、情報を収集し、本市森林組合を含めた近隣4森林組合とも連携し、CLTの普及・有用な情報を発信し、支援についても研究していきたい。

協議会及び委員会の内容

1月~3月

全員協議会

1月16日

(報告事項)

- 1 平成29年度大田原市行政組織の改編について
- 2 平成28年度事務事業庁内検証会議の結果について
- 3 障害者手帳等診断書料助成金交付について
- 4 大田原市地域公共交通網形成計画策定に係る意見公募手続(パブリックコメント)の実施について
- 5 親園中学校と佐久山中学校の統合について
- 6 那須地区広域行政事務組合議会臨時会報告について
- 7 那須地区消防組合議会臨時会報告について
- 8 小中学校卒業式における議長祝辞の割り振りについて
- 1 (協議事項)
- 1 各種委員等の決定について

2月13日

(報告事項)

- 1 大田原市国民保護計画の変更の報告について
- 2 平成29年度大田原市当初予算(案)の概要について
- 3 がん患者医療用ウィッグ購入費の助成について
- 4 病児・病後児保育事業及び休日保育の実施について
- 5 大田原市内における鳥インフルエンザの発生状況及びその対応について
- 6 大田原市バイオマス産業都市構想策定に係る意見公募手続(パブリックコメント)の実施について
- 7 大田原市建築物耐震改修促進計画(二期計画)の策定及び対応について
- 8 第3期大田原市生涯学習推進計画の策定について
- 9 条例改正(案)について
- 10 那須地区消防組合議会定例会報告について

2月24日

(報告事項)

- 1 タブレット端末の更新について

3月21日

(報告事項)

- 1 庁舎敷地及び周辺駐車場の配置計画等について
- 2 「平成27年度新地方公会計制度による連結及び

- 3 普通会計財務書類」について
- 4 大田原市会計報告書について
- 5 子宮頸がん集団検診に細胞診断とHPV検査による併用検査導入について
- 6 産前産後サポート事業、養育支援ヘルパー派遣事業及び産後ケア事業の実施について
- 7 「大田原市オリジナル出生届」及び「命名書」の作成について
- 8 大田原市地域公共交通網形成計画の策定について
- 9 大田原市ゴルフ場景観保全事業補助金の交付について
- 10 大田原市中小企業・小規模企業の振興に関する基本方針(案)に関する意見公募手続(パブリックコメント)の実施について
- 11 「第41回パリマソン大会」への選手派遣について
- 12 那須地区広域行政事務組合議会定例会報告について

総務常任委員会

3月13日

- 1 付託議案の審査

民生常任委員会

3月13日

- 1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

1月24日

- 1 所管事項調査
- (鳥獣被害の現状と対策について)



須佐木地区にて

文教常任委員会

1月20日

- 1 所管事項調査
- (英語部公開発表について・黒羽芭蕉の館展示物について)



須賀川小学校にて

議会運営委員会

3月14日

- 1 付託議案の審査

- 1 条例改正(案)について
- 2 平成29年第1回市議会定例会の運営について
- 3 議員案について

予算審査特別委員会

3月6日

- 1 委員長及び副委員長の互選について
- 2 分科会の設置について
- 3 会議日程について

- 1 各分科会(第1及び第2分科会)

- 1 各分科会(第3及び第4分科会)

- 1 全体会

議会活性化特別委員会

2月8日

- 1 大田原市議会申し合わせ事項(案)について

議会広報広聴委員会

1月17日

- 1 議会だよりの発行について

- 1 議会だよりの協議

平成29年 第1回市議会定例会における表決状況一覧 (賛否が分かれた議案)

Table with columns for members (秋山幸子, 印南典子, etc.) and rows for various proposals (議案第2号, 議案第3号, etc.).

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※引地達雄議長は採決に原則加わりません

みなさんからの 請願・陳情 (委員会審査状況)

陳情第8号

「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情書

(平成28年11月提出)

(提出者)

宇都宮市戸祭台29-17

栃木県保険医協会

会長 長尾 月夫

(陳情の趣旨)

患者負担増で受診抑制がおきないように、現行の高額療養費制度、後期高齢者の窓口負担の継続するよう国に意見書の提出を求めるもの

(民生常任委員会)

審査の内容・結果

審査では、陳情内容の趣旨は理解できるものの、見直しに際し、低所得者への配慮措置が検討されていると共に、持続可能な社会保障制度の確立には見直しが必要と判断し、「不採択」とすることに決しました。

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会議務局へ持参してください。
■ 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
■ 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
■ 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願(陳情)書の書式例〉

《表紙》

Form for the cover of the petition, including fields for '○○○に関する 請願(陳情)', '紹介議員名 (陳情は不要)', and a stamp area.

《内容》

Form for the content of the petition, including '1. 請願(陳情)の趣旨', '2. 請願(陳情)の理由', and fields for the petitioner's name and address.

**意見書
提出**

3月定例会の最終日に議員より「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について」(案)が議長に提出され、本会議において議員案第3号として上程し、可決いたしました。なお、この意見書につきましては、議長において関係機関へ送付いたしました。

**地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書**

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月21日

栃木県大田原市議会議長

引地達雄



提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、
厚生労働大臣

議 会 日 誌



2月



1月

- 16日 議会運営委員会
○全員協議会
- 那須地区議員交流会
- 17日 広報広聴委員会
- 20日 文教常任委員会所管事項調査
- 24日 建設産業常任委員会所管事項調査
○長井市議会行政視察受入
- 26日 嵐山町議会行政視察受入
- 31日 立科町議会行政視察受入
- 2日 守谷市議会行政視察受入
- 6日 蕨市議会行政視察受入
- 8日 議会活性化特別委員会
○福山市議会行政視察受入
- 9日 湯沢市議会行政視察受入
○那須地区消防組合議会定例会
- 13日 全員協議会
○大田原市議会議員研修会
- 17日 県北5市議長会議
- 23日 那須地区広域行政事務組合議会定例会



3月



- 24日 議会運営委員会
○全員協議会
- 27日 矢板市議会行政視察受入
- 3日 平成29年第1回市議会定例会招集
(本会議)
- 6日 本会議(代表質問)
○予算審査特別委員会
- 7日 本会議(代表・一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 13日 総務常任委員会
○民生常任委員会
- 予算審査特別委員会第1及び第2
分科会
- 14日 文教常任委員会
○予算審査特別委員会第3及び第4
分科会
- 15日 予算審査特別委員会全体会
- 21日 本会議(議決)
○議会運営委員会
○全員協議会
- 22日 広報広聴委員会

市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法…ご自宅等のパソコンから生中継をご覧ください際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

●大田原市ホームページ：<http://www.city.ohawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先 大田原市議会事務局 ☎0287-23-8714



**議会報告会を
開催します！**

議会報告会は、議会基本条例第10条に基づき行うものであり、同条第1項には「議会は、市政の諸課題に対処するため、市政全般にわたって、市民と議員が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を行うものとする」と規定されています。

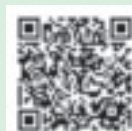
開催日時、会場については左記の通り決定しましたので、ぜひご参加ください。

開催日時	会場
平成29年 6月26日(月) 午後7時	野崎地区公民館
平成29年 6月27日(火) 午後7時	JAなすの親園支店
平成29年 6月28日(水) 午後7時	須賀川地区公民館
平成29年 6月29日(木) 午後7時	与一伝承館

平成29年 6月定例会 開催のお知らせ

会期(予定) **6月12日(月)～6月22日(木)**

※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。



市議会ホームページ
こちらが



〈本 町〉
小池 有香 さん



私は、体験実習で大田原市福祉事務所にお世話になりました。その実習の一環として、3月10日の大田原市議会を傍聴しました。

今回初めて議会を傍聴し、市長をはじめとした市執行部の方々、議員の皆様が集まり、大田原市の課題や事業などについて質問や意見を述べる姿を拝見しました。議員からの一般質問は、どの内容も大変興味深く、市民が抱く不安や



疑問に寄り添っていると感じました。

最後に議会傍聴を通して、大田原市のために、多くの人々が様々な面から携わっていることを知りました。これからも良い市政、良い大田原市を創り続けていただきたいと思えます。今後も、市長及び市執行部の方々、議員の皆様のご活躍を期待しております。

〈中田原〉
小泉 志穂 さん



「テレビで見えていた世界だ」それが、私が初めて議会一般質問を見学させていただいたときに感じたことです。自分の住んでいる地域で、このような議会が行われていることを改めて実感し、今までよ

りも身近に感じました。

議会では、一つの問題に様々な方向から解決策をあげ、大田原市がより良い環境に繋がるよう討論がなされています。傍聴している間に、自分でできることはないのかと、もどかしい気持ちにもなりました。

私の大好きな大田原市は、こういった影で大田原市のためにたくさん考え、頑張ってくれている人たちがいるからこそ心の落ち着く場所なのだと思います。これからは、大田原市の問題を他人事と捉えず、私も一緒に大田原市をより幸せ溢れる街にしたいと思えます。

